

城戸野廃寺跡(じょうどのはいじ) (児玉郡神川町)

正面遠方に伝緑野寺旧跡(城戸野廃寺)と言われる付近の5号墳が見える





右手に廻って正面に5号墳、8号墳(その右手)を見る





左手が5号墳、右手が8号墳



この左手が伝緑野寺旧跡(城戸野廃寺)





伝緑野寺旧跡と城戸野古墳群

伝緑野寺旧跡(昭和三十六年九月一日 県指定旧跡)は、小字名から「城戸野廃寺」ともいわれている。この地からは複弁八葉蓮華文軒丸瓦、単弁八葉蓮華文軒丸瓦などの瓦が採取されている。また礎石の存在が知られていたが現在には不明である。

伝緑野寺というのは、『続日本後紀』承和元年(八三四)五月平安時代初期の条で、道忠禪師の創建とされる上野国(現在の群馬県)緑野寺の記述の中に浄土野の地名がみえることから、読仮名の同じ小字のここ神川町大字新宿字城戸野の地が緑野寺に比定されたようである。緑野寺は、神流川の流路の変遷により対岸の群馬県鬼石町浄法寺に移ったとみられている。

伝緑野寺旧跡の周囲に点在する小丘は、今から一三〇〇年程前に造られた古墳で、これらは「城戸野古墳群」と呼ばれる。古墳群は、町内で最も南に所在し、その総数は三十基余り確認されている。



伝緑野寺旧跡と城戸野古墳群 縮尺1:2000

昭和四十三年の北部用水工事及び平成二年からの土地改良事業で七基の古墳が調査された。古墳の形態は全て径十五〜二十メートルの円墳で、埋葬主体部は横穴式石室を採用する。副葬品には、耳環・管玉・切小玉等の装身具、直刀・鉄鏃等の武具、須恵器が出土している。墳丘には葺石が巡らされ、円筒埴輪や人物埴輪、水鳥埴輪等を樹立している。

平成三年三月

神川町教育委員会



伝緑野寺旧跡と城戸野古墳群

縮尺1:2000

手前が5号墳、奥が8号墳



8号墳の後ろへ廻る





左前方が8号墳



8号墳を左後方から見る







参考ホームページ

<http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/57 kmkw/iodono.html>